

鉱山町あいかわ・下町散策① 下町のなりたち

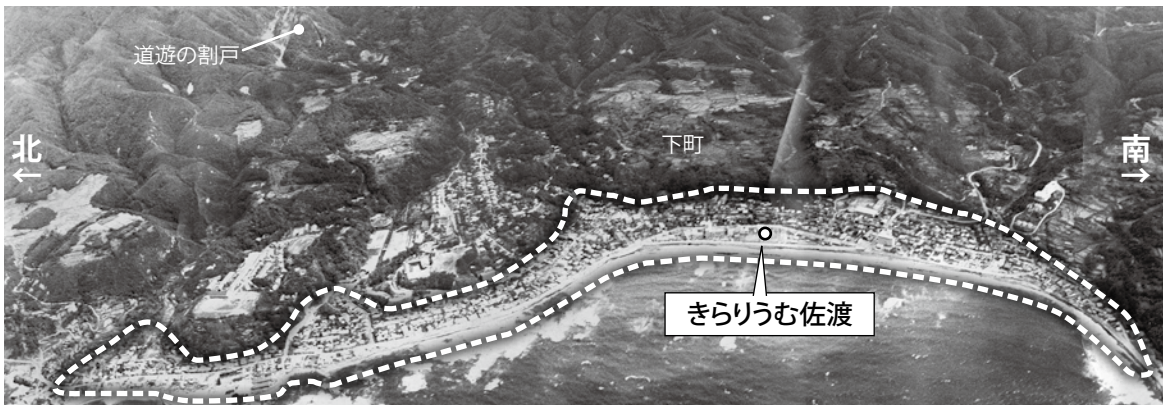
4月20日(土)にオープンを控えた「きらりうむ佐渡」がある海岸沿いの市街地「下町」を中心に、鉱山町散策の見どころをご紹介します。

下町は、今から約四百年前、相川金銀山の発見を契機に大規模な鉱山開発が始まり、山と海の狭間に鉱山町相川が誕生しました。今の相川の人口は約6千3百人ですが、江戸時代の最盛期には5万人近い人が暮らしていたといわれ、金銀山が発見されて間もない慶長8年(1603)、佐渡代官・大久保長安によるまちづくりによって現在の市街地の原形ができました。

一方、鉱山町が開発される以前の相川には、海岸にあるわずかな平地に小さな集落があるのみで、下町の大半は砂浜や沼地でした。鉱山の繁栄に伴い、町が拡大されて人が増え、その中で下町にも街並が形成されました。寛永6年(1629)には、下町南部の海岸を大規模に埋め立て、一町目から五町目(下戸町)の町が誕生したという記録が残っています。埋め立ての正確な範囲は分かっていますが、記録に残されている場所以外でも埋め立てが行われていたと思われる場合があります。

実は、この大規模な埋め立て工事も、下町散策の見どころの一つです。詳しくは、次号で紹介いたします。

産業観光部世界遺産推進課 ☎63-5136



昭和中期の相川(昭和の埋立工事前)
江戸時代だけでなく、昭和から平成にかけても海岸部の大規模な埋め立てが行われました

市立病院から こんにちは

両津病院
霍問 勇人 先生

診療科目/内科

風邪について

両津病院の内科外来には定期的に外来通院をされる方も多くいらっしゃいますが、急に体調が悪くなった患者さんもたくさん受診されます。その多くの方は「風邪」と診断されます。

風邪とはいったいどのような病気でしょうか？風邪はウイルスに感染することで発症し、咳、鼻、のどの症状をほぼ同時に起こし微熱も伴うことがあります。残念ながら医学が進歩した現代でも風邪を早く治す薬はありません。逆に言えば、薬で治療を行わなくても自然に治る病気を風邪と診断します。実はインフルエンザも風邪のひとつです。感染力が強いため報道などでたびたび耳にし、大変な病気と思っている方もいらっしゃるかと思いますが、たいていの場合は自然に治ります。

医師は風邪症状を訴える患者さんが外来を受診した時には、本当に風邪なのか風邪以外の病気なのか注意して診察をします。例えば風邪ではなく、実は肺炎だった場合は抗生剤治療を行わなければ重症化しますので、早期に診断し抗生剤治療を行うのが大切です。

それではどのような時が風邪ではないのでしょうか？例えば、

- ① 3日経っても良くならない
 - ② 食事が食べられなくなった
 - ③ 日に日に症状が悪化する
 - ④ 熱だけで咳、鼻、のどの症状がない
- などは、風邪ではない可能性があるため病院を受診しましょう。



今回は両津病院の猪本先生です。